

バリアフリー教室 in 水戸市立上中妻小学校

茨城運輸支局では、9月4日（水）に水戸市立上中妻小学校においてバリアフリー教室を開催しました。当日は、ノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助を体験し、障がいのある方や高齢者がバスを乗り降りする時にどんなことに困るのか、そして介助する側の大変さと手助けする大切さを学びました。

〔開催概要〕

- 日 時：令和元年9月4日（水）10：35～12：10
- 場 所：水戸市立上中妻小学校
- 参加者：4年生 45名
- 主 催：茨城運輸支局 / 水戸市
- 協 力：（公社）茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕
／（一社）茨城県バス協会 / 茨城交通（株）

〔プログラム〕

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表（体験してわかったこと、
難しかったこと、良かったこと）
- 質疑応答
- まとめ
- アンケート配布



参加者の感想

- ・高れい者体験では、こんなにうでや足が重いんだな、耳が聞こえづらいんだな、目が見えづらいんだなと、びっくりしました。
- ・車いすの人は、バスにのるとき大変な思いをしていることが、よくわかりました。
- ・車いすや高れい者体験では、バスにのりおりするとき一人では大変だけど、みんながささえてくれて安心しました。
- ・バスに乗るときやおりるときにお手伝いしてもらって、あったかいきもちになりました。
- ・みんなが助け合うことが大切だと思いました。
- ・体の不自由な人や介助者が困っていたら、やさしく「お手伝いしますよ」と声をかけたいと思いました。



車いす体験



高齢者疑似体験



グループ発表